



All for Your Business!

ジャパン建材は 皆様の『架け橋』

皆様のお役に立ちます。

仕入先様
合板・プレカット
構造材
住宅建材・設備機器

JK 木構造グループ
合板製造・木材加工事業



お施主様に心から喜んでいただける住まいづくりを目指してご活躍の販売店様・工務店様。素晴らしい技術・開発力から生み出された商材をご提供いただく仕入先様。ジャパン建材は、お施主様・工務店様・建材販売店様・仕入先様を結ぶ『架け橋』。日本一の品揃えと、独自のバックアップメニューをご用意して“地域密着の営業”を推進しています。ジャパン建材ならではの多彩な機能を存分にご利用ください！

● “快適住実”の住まいづくりを実現する取扱主力商品

住まいの品質を決める4大要素の「構造」「省エネ」「耐久性」「維持管理」を基本とする“快適で豊かな住環境の創造”のための商材を豊富に揃えています。

◆ 合板

合板は、木材の優れた特性を備え、木材の欠点を除いて「木材よりも強く、必要な強度に合わせて設計・製造できる、伸び縮みの少ない材料」。「普通合板」「コンクリート型枠用合板」「構造用合板」「特殊合板」「特殊加工化粧合板」など、国内外から選りすぐった各種合板。

◆ 構造材

LVL（単板積層材）・集成材・構造用集成材など、地震・災害に強さを発揮し、住宅の資産価値の基礎となる耐久性に優れた構造材。

◆ 住宅建材

お施主様の多様なライフスタイル・お好みのテイストに合う内装材（建具・造作材）、外装材（窯業系・金属系など）、エクステリア（カーポート・門扉）。

◆ 住宅設備機器

新築住宅でも、住宅リフォームでもお施主様満足につながる最新の各種設備機器。「太陽光発電システム」「オール電化」「エコキュート」「ガスエンジン式マイホーム発電」「石油・ガス給湯器」「エコガラス」「外張り断熱」「システムキッチン」「システムバス」「洗面化粧台」「トイレ」「火災警報器」「24時間換気システム」「エアコン」「ヒートポンプ」「床暖房」「防犯・セキュリティ関連商品」などをご提案。

◆ Bulls 商品

快適で豊かな「住」環境の創造をめざすジャパン建材のプライベートブランド。小さなものから大きなものまで特色ある住まいづくりのお役立ち約300アイテムを品揃え。

● ジャパン建材独自の「バックアップメニュー」

◆ ジャパン建材フェア

年2回開催する総合住宅建材展示即売会。最新の住宅建材・住宅設備機器に実際に触れていただける場であり、販売店様・工務店様のご商売の場としてもご利用いただいています。

◆ 取扱主力商品カタログの発行

最新のジャパン建材取扱主力商品を掲載して年1回発行しています。

- 『住宅機器・住宅部材総合カタログ』
- 『Bulls CATALOGUE』
プライベートブランド商品約300アイテムを一挙掲載。
- 『ウェブ カタログ』
ジャパン建材のホームページから閲覧できる取扱主力商品カタログ。「合板」「構造材」「住宅建材」「住宅設備機器」「Bulls 商品」に分けてご紹介しています。
- ホームページ上に電子カタログ「カタラボ」もアップしました。
どなたでも活用できます。

お施主様の夢のマイホームづくりを任せていただくには、工務店様の技術力が最大限に発揮いただける環境整備が不可欠です。ジャパン建材は、直接のお客様である建材販売店様との連携によって、その先のお客様である工務店様の受注活動からのサポート体制を整備・強化し、地域のお施主様との信頼関係づくりを強力にバックアップしています。

◆ JK サポートセンター

お施主様が納得・安心し、マイホームの建設をぜひ任せたいと言っていただける、地域で信頼される工務店様としてご活躍いただくための支援システム。営業支援、住宅ローン支援、瑕疵保険・確認申請サポート、住宅性能表示・長期優良住宅・住宅エコポイントにも対応。

◆ JK 情報センター

業界の最新情報を発信。
○ 需要動向予測調査
ジャパン建材のお取引先様の販売動向・景況判断に基づく四半期ごとの予測調査。
○ 月刊 Bulls Business 発行
業界の最新ニュース、ジャパン建材からのおススメ商品、新しいご提案などを掲載。

◆ **ジャパン建材会**

建材販売店の皆様が地元同業者の方々と連携の輪を拡げ、住宅資材流通のあり方を共に考える場をご提供するジャパン建材のお客様会。全国 64 の地域、総会員数約 1300 社のご参加をいただき、仕入れ先様約 800 社に賛助会員として運営支援をいただいています。

◆ **環境対応**

緑の地球、豊かな自然を次世代に残す取り組み。
 ○森林認証制度に基づく木材・木材製品の流通を積極的に推進。
 ○ジャパン・リサイクル・ロジ友の会
 ジャパン建材・建材販売店様・工務店様 3 者による石膏ボード端材リサイクルのための会（首都圏のみ）。

◆ **雙環フォーラム**

今後の業界環境を多方面から中長期的に分析し、新しい時代を生き抜く企業の経営者に必要な「人間力」向上を図るセミナーの開催を核に据えた、ジャパン建材とお取引様とが長期にわたる共存共栄を目指して「∞（無限）」の可能性を育むための会。

◆ **JK 木構造建築事業**

国産材活用を促す【公共建築物等への木材利用促進法】が 2010 年 10 月 1 日に施行され、非住宅分野でも木構造の需要が増えることが見込まれます。その窓口として JK 木構造建築事業室が、JK 木構造グループの集材材・LVL の製品開発・設計・製造技術、プレカット、建築施工ノウハウによる新しい木構造の可能性を追求しています。

● **優良な住まいづくり & 経営に役立つご提案**

優良な住まいづくりの骨格となる『D & J 工法』や、迅速・確実な受発注と基幹業務の効率化にもつながる『MEWS』、JK ホールディングスの各種フランチャイズ事業も活用いただけます。

◆ **メーカー統合**

オンライン受発注システム

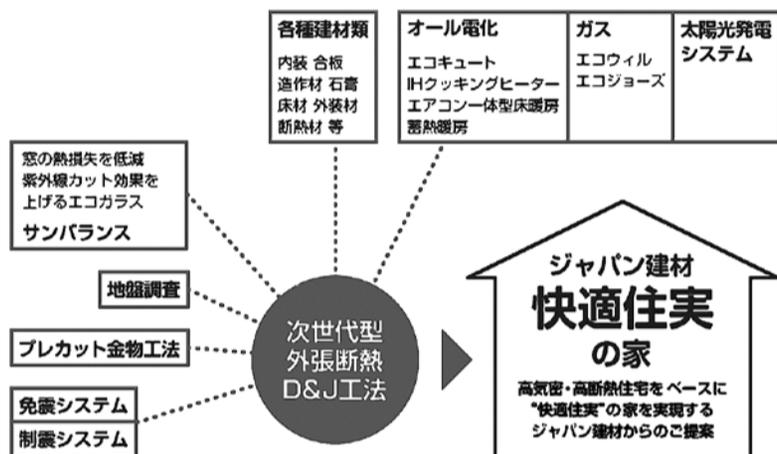
『MEWS (Material EDI Web System)』

参画メーカーと連携して、ホストコンピュータと連動し、複数メーカーに対して在庫問い合わせから納期照会、個別見積り、発注、発注状況確認などの業務が統一画面で行える。

発注情報は、メーカーとリアルタイムに共有するとともに、お客様の自社システムの発注・売上・請求・支払いデータとしても活用できます。

◆ **住宅型式性能認定『次世代型 外張断熱 D & J 工法』**

確かな設計力と品質・性能、そして、確実な施工技術が求められる次世代型の住まいづくりのために、ダウ化工(株)とジャパン建材が共同開発。基礎外周・外壁・屋根（遮熱）を断熱性の高い「スタイロエース」ですっぽり包んだ気密性の高い「住宅型式性能認定」を取得したオープン工法。住む人に、環境に、さらに「Bulls 商品」を組み入れることで技術面のバックアップで施工者にもやさしい“長期優良住宅”の骨格となる住まいづくりをサポートします。



◆ **ハウス・デポ・ジャパン**



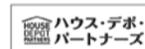
販売店様が「地域 No. 1 を目指す工務店様」を支援する [ハートシステム] を提供し、「販売店様」「工務店様」「お施主様」がより良い関係を築くためのサポートサービスを提供します。

◆ **ハウス・デポグループ**



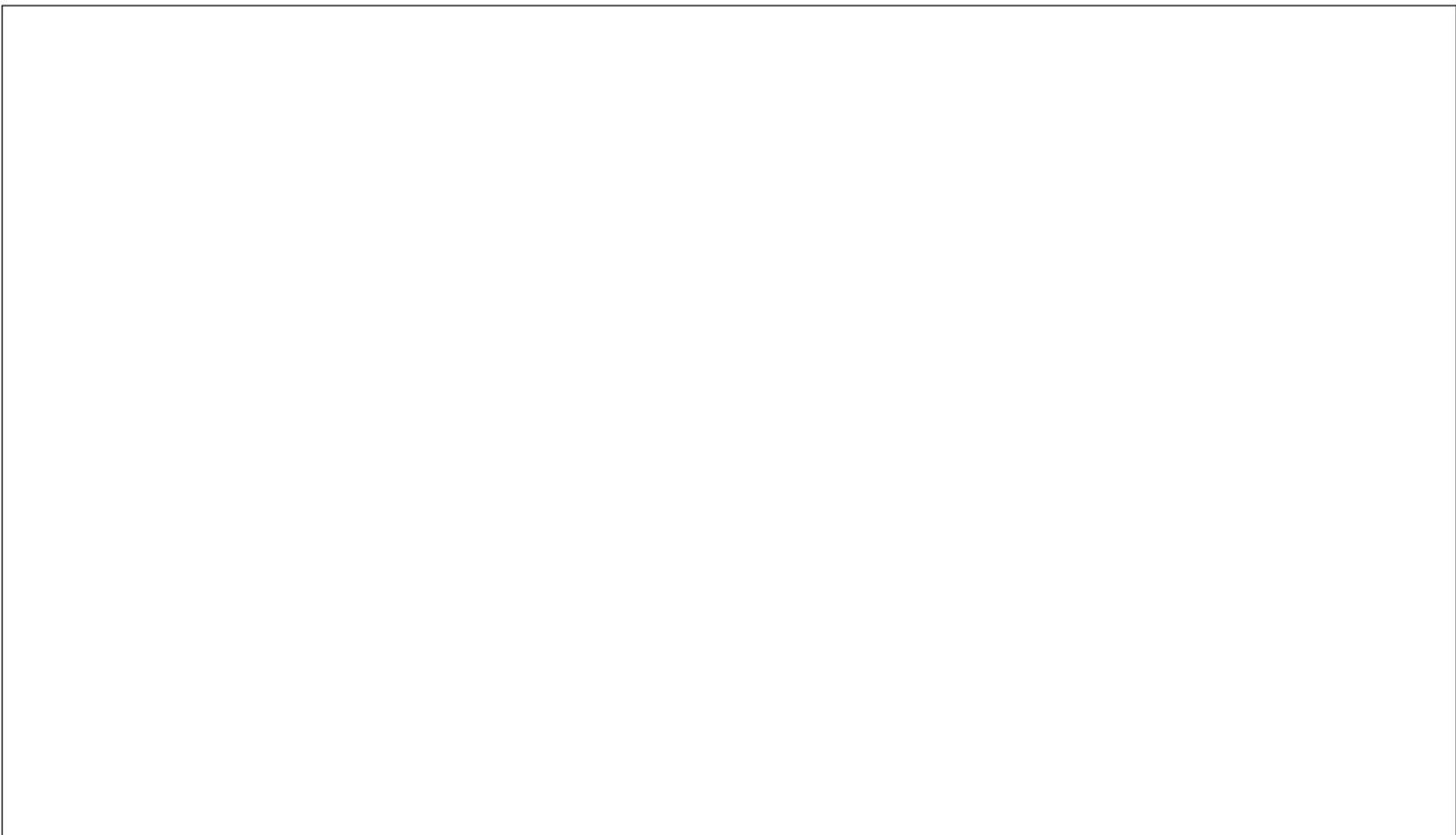
販売店様が建築資材供給の域を超え、地場住宅産業を担う一員として、地場住宅産業を健全化・活性化し、地域社会に貢献する「安心と信頼の家づくり」を提供します。

◆ **ハウス・デポ・パートナーズ**



住宅ローンや各種サービスの提供を通じて「工務店様との家づくり」を支援するためのさまざまなサービスを展開しています。

詳細につきましては、ジャパン建材の各営業担当に、お気軽にお問合せください！



トップ対談

代表取締役 社長

吉川 康長 様

よし かわ やす なが

〔プロフィール〕

1943 (昭和 18) 年生まれ。1968 年に永大産業(株)入社。1997 (平成 9) 年に東京特販営業部長就任以後、取締役東京特販営業部長、取締役営業本部副本部長、常務取締役営業本部長、常務取締役事業本部長など重職を歴任。2003 年、代表取締役社長就任、現在に至る。



永大産業株式会社

【会社概要】2010 年 3 月末現在

本社：大阪市住之江区平林南二丁目 10-60

設立：1946 (昭和 21) 年

資本金：3,285 百万円

従業員数：1,143 名

年商：550 億円 (連結)

1946 年、大阪市大正区で戦後の復興資材としての合板の製造販売会社を創業。1959 年に国産第 1 号のプリント合板を販売開始。1985 年、国内初のフローリング着色塗装量産ラインを稼働。2006 年にはフローリングで日本初の「環境ラベル付き」となる PEFC-CoC 認証を取得。エコに

つながる新製品開発を推進する。

2007 年、東京証券取引所市場第二部に上場。同年、PEFC-CoC 認証『エコメッセージフロア』発売、翌 2008 年にはその第 2 弾となる『エコメッセージ V』を発売して環境配慮型フローリングのシリーズ化開始。持続可能な森林資源の利用や、役目を終えた木製品や木質廃材が再び社会で利用されるためのマテリアルリサイクルシステムを構築。木材資源を循環させる「環境創造型事業」を通じて、より質の高い住まいづくりに挑戦し、広く社会に貢献する製品開発に取り組んでいる。

木を活かし、よりよい暮らしを

厳しい環境下で耐性を獲得

大久保 このトップ対談では全国のお客様を訪問し、さらに四半期ごとに主力仕入先様からも直接お話を伺っています。これは、ジャパン建材全国約 2 万社のお客様に役立つ情報を発信するだけでなく、私自身にとっても地域ごとの実情を把握できる、とても良い機会になっています。よろしくお願いたします。

吉川 確かに東京だけでも、山手線の内側と外側ではお客様の業態が全く異なっています。お客様の状況を知るには、やはり、直接お話を伺うのが一番です。

大久保 市場が大きく変わり、お客様の方向性も変化してきていますよね。

吉川 我々も、特にこの 3 年間、随分と勉強させてもらい、変わりましたからね。

大久保 非常に厳しい状況ではありましたが、そのおかげで筋肉質の経営に切り替えられたと思います。

吉川 確かにおっしゃるとおり、どんな状況にも打ち勝つ耐性を獲得しましたね。何しろ、1997 年の消費税率 UP の影響で前年は 165 万戸近くあった新設住宅着工数が約 140 万戸に減り、1998 年には 120 万戸を下回って、その後は 120 万戸前後の状況が 2006 年まで続きました。

それが、2007 年の建築基準法改正で一気に 106 万戸、さらに昨年の 78 万戸台へと急降下。私や大久保さんが営業の最前線で頑張っていた頃は、新築の 8 割近くが木造戸建て、マンションやアパートの割合はわずかなものでした。現在の新築需要は、総数で当時の半分になっていますが、木建ルートにとっては一番嬉しい、戸建て住宅が復調しはじめましたね。

大久保 今年も 80 万戸台と、数そのものは大きく増えないでしょうが、私どもで四半期ごとに実施している「需要動向予測」でも、今年 4 月～6 月より 7 月～9 月、さらに 10 月～12 月のほうが良くなるだろうという予測結果が出ています。

吉川 プレカットが好調なもの、復調にあるからでしょうね。

徹底した木材資源活用

大久保 永大産業さんは、かつては日本一の合板生産量を誇り、ブラジルなど海外にも輸出され、また、プリント合板の国産第一号も発売されましたね。

吉川 永大丸という船を 8 隻もって南洋材原木を輸入して合板を作り、海外にも製品を出していましたが、原木を買うの

と同じ値段で輸入合板が入ってくるようになり、撤退しました。

大久保 循環型のエコ素材活用に取り組まれたのも非常に早かったですね。

吉川 はい。昔は、伐採した原木から製材品にするのは 1 割程度で、残りは燃料かパルプ用のチップにしていました。こういった「未利用材」をいかに活用するかということで、木質ボードの生産が始まったわけです。

木を魚に例えれば、頭だろうと、カマや内臓だろうと、みんな料理にして食事にしてムダなく利用する考え方で製材の過程で出る端材・鋸くず、合板の製造過程で出る単板くず・端材、集成材の加工過程でも出る廃材も活用し、原料にしているのがパーティクルボードや繊維板です。

大久保 ほぼ 100%の有効活用ですね。

吉川 さらに、木質ボードの寿命が終わったときに、これを回収して再び木質ボードを作るというのを進めています。

大久保 永大産業さん独自の「半永久的なリサイクルシステム」ですね。

吉川 これ以上の資源の有効活用はできないというところまで活用しています。

大久保 私どもの【Bulls 商品】にも、永大産業さんの全面的なご協力をいただいで、グリーン購入法にも対応できる PEFC-CoC 認証フローリング『Bulls エコメッセージ フローリング』をラインナップさせていただいています。

吉川 私どものポリシーや取組みに共感いただいでプライベートブランド商品に選んでいただいたことは、メーカーとしては名誉なことであり、嬉しいことです。

大久保 私どもは、プライベートブランドである【Bulls 商品】の販売力をつけていくことが、各メーカー様の商品の拡販力にも繋げられるという姿勢で取り組んでいます。無理なことをお願いしたかもしれませんが、一所懸命売らせていただきます。

炭素を固定する木質建材

吉川 私どもの木質建材に利用している木は、唯一再生可能な資源です。その特性が一番発揮できるのは「植林木」。先程お話しした「未利用材」「端材」「リサイクル材」活用が壁材・建具などの垂直面の製品づくりではできていましたが、床材などの水平面の製品がまだ熱帯雨林材に頼っていました。これを何とかしたいということで製品にしたのが、ユーカリ材を基材にした『エコメッセージフローリング』です。

ファルカタ、アカシア、カメレレ、ユーカリなどのさまざまな広葉樹を使い、お客様のご協力もいただいで製品開発を進めました。なかでも実用面で一番優れていたのがユーカリでしたが、比重が非常に重くて硬いので加工機械を完全に入れ替え、メラニティ加工に携わってきた工場にユーカリの特性に沿った製品づくりを徹底させることからスタートしました。

パイロットで施工をお願いしたお客様からも「硬い、重い」といった声も出ましたが、やはりエコの時代ですから、持続可能な木材資源を使っていかなければいけないという認識を共有いただいで、バリアーを超えて実現したものです。

大久保 私ども流通は、製品を作ることはできません。ですから、「メーカーさんが苦勞された製品の特性をしっかり理解し、大事に売っていかなければいけない」と、いつも社内で話しています。

吉川 この製品づくりを通して、「未利用材」や「植林木」を使って新しい製品を開発・製造をしていくには、従来の発想ではできないことを改めて痛感しました。

大久保 新しいバリエーションとして昨年 11 月に発売された『エコメッセージ パートナーワン』も、「地球にやさしい」「人にやさしい」「ペットにやさしい」フローリングですね。

吉川 進化した『エコメッセージ』です。木質建材は、植林によって二酸化炭素の貯蔵庫になる森林を増やし、製造過程でもこんなにも木材資源の有効活用に取り組む、完成した製品は炭素の固定に貢献していますが、「住宅エコポイント」の発行対象にならないのは残念です。

ジャパン建材さんや、建材販売店の皆様にも、「木質ボードなどの木質建材は、燃やさないで使い続ける間は炭素を固定している」ことを評価いただいで、おおいに PR いただければと思います。

加工技術を極める次のステージ

吉川 木質建材メーカーはどことも同じ状況だと思いますが、我々は、今後も木質加工技術をどこまで極めていけるかが大きなテーマになっています。といいますのも、日本繊維板工業会、フローアー工業会でも、林野庁の要請に基づく国産材活用、さらに地産地消の県産材活用のための新技術への取組みが求められているからです。その試みの一つとしてキーテックさんの県

産材合板に当社の圧密を合体させた文教施設向けの『圧密フロア』を完成させました。

大久保 かなり難しい技術だそうですね。

吉川 はい。ただ、これまでにパーティクルボードといえども、熱を加えても、水を加えても、伸びてはいけなく、木と同じ性能に、鉄板と同じ性能をもたせなければならぬなど、どんどん高く、厳しくなる性能要求をクリアしてきています。圧密加工の技術も 20 年前に完成して特許も取っていたものです。この技術を活用してカラマツとクリで作った床暖房対応で足腰への衝撃も少ない「ふんわり圧密」を第二弾として考えています。

住宅産業は地場産業

大久保 木質建材メーカーさんは、これからますます国産材・県産材活用で地産地消の製品づくりに貢献されるのですね。私どもも金太郎船的ではない、各エリアの実情を踏まえた“地域密着”の推進。建材販売店様・工務店様、お施主様、そして仕入先様のお役に立つことを目指して JK サポートセンターのサポート力 UP にも努めているところです。

吉川 住宅産業は、新築を手掛けるにしても、リフォームに取り組むにしても、地場産業だと思いますね。ですから、全国規模のハウスメーカーさんでも、それぞれの地域で地場産業になることを目指して、学区による土地探しから営業に取り組んでいらっしゃいます。

建材販売店様、工務店様も、地場産業ということをもっと前向きに自覚され、自社のある県の物件はすべて請けていこうじゃないかという意気込みをもって頑張っていただいで、かかりつけのお医者さんのような存在になっていただければ最高だと思います。

大久保 私どもも業界の“架け橋”としての役割をおおいに発揮して参ります。貴重なお話をありがとうございました。



ジャパン建材おススメ 住まいの骨格 “ECO 商材”

数世代にわたって長く住み継いでいける住宅を建て、手入れして大切に使う。これが資源を大事に使うことにつながり、究極のECOになる。住宅建材・住宅設備機器メーカー様から世に送り出される“環境に配慮した製品”の数々。ジャパン建材は、こうした優れた商材を販売店様を通じて工務店様、さらにお施主様にお届けし、「快適で豊かな住環境の創造」に貢献していくことを目指しています。

多種多様な品揃えから、今回は、住まいの骨格づくりに役立つ“ECO 商材”をご紹介します！

●決め手は[長期優良住宅認定基準]クリア

各地のJKサポートセンターで申請をサポートしている「長期優良住宅」。その基準に対応する住宅が、すでに住宅業界の標準仕様になっている。

戸建て住宅の場合、認定の技術基準は4項目。

- ①「劣化対策：等級3」
- ②「耐震性：等級2」
- ③「維持管理・更新の容易性：等級3」
- ④「省エネルギー性：等級4」

加えて、変化に対応できる空間が確保できる「住戸面積」として居住面積75㎡以上・基準階部分の床面積40㎡以上、将来を見据えた定期的な点検・補修等に関する「計画的な維持保全」のための住宅履歴情報の作成や、地方公共団体ごとの規制・誘導規制に沿った優良な「住環境への配慮」等が求められる。

■ 耐震・高耐久・高气密に優れた軸組み金物工法

数世代にわたって住宅の構造を維持する基本は、何といても構造躯体。品質が一定、経年変化をより小さくとどめ強靱な接合力を発揮する「金物工法+集成材」をご用意。

◇主要な金物工法

『テックワンP-3』『プレセッター』『HS・HSS 金物』『SSLOCK』『モッケン金物』など。
※プレカット協力工場の加工機により使用可能な金物が異なります。

■ 地震に強い高性能木質住宅の構造材・耐力面材

地震の被害を食い止めるための大事なポイントは、水平面の剛性を高めること。収縮・ねじれ・たわみ・割れなどの不安を払拭する、床組・小屋組、耐力壁にも最適なものをラインナップ。

◇主要な構造材・耐力面材

『キーラム AQ 土台セッコン K3』『木材保存処理建築土台』『構造用 LVL キーラム』『杉平角・檜柱』『ネダノン』『キーラム耐震開口フレーム』『キーラムジョイスト』『パワーウッド』『構造用 OSB パネル』『ノボパン構造用パネル』『あんしん』『J パネル QF』『ネダノンスタッドレス 5 +』『長尺針葉樹合板』など。

■ 地震力を吸収する制震金物・振動抑制装置

最先端の技術と豊富な研究実績を重ねて開発された地震の振動エネルギーを吸収する振動抑制装置や、抵抗力と吸収力で木造住宅の強さを引き出す制震金物。

◇主要な地震力吸収装置・制震金物

『GARDIAN: Re』『エースダンパー』など。

■ 省エネに欠かせない断熱材

次世代省エネルギー基準（平成11（1999）年基準）をクリアするには、壁・床・天井の断熱性UPが不可欠。さらに断熱性+遮熱機能+防湿気密で省エネ度をUP。それぞれの素材特性を生かした気密性UPの工夫、通気層の施工性も進化。

◇主要な断熱材

『マグオランジュ』『床トップ剛床』『通気くん』『パーフェクトバリア』『パーフェクトバリア・アルミ遮熱シート』『スタイロエースII』『スタイロフォーム』『スタイロフォームAT』『スタイロラスターTM』『ハウスロン』『ハウスロンeキューズ』『フルカットサン』『露断 204 プレミア』『カネライトインサー®』『カネライトオメガ®』『ソフティセルONE』『フクフォーム・フクフォームN』『フクフォームルーフ』『サニーライト®』『サニーライト® JUMBO』『ネオマ® フォーム』『ロクセラム アムマット・アムマット9』『ホームマット』など。

●都市部狭小地でも木造3階建てが可能

JK 木構造グループ(株)キーテック『キーラム耐震住宅 Sun-Shine Structure』は、寸法安定性に優れ、強度が高い『キーラム』を活用した木造耐震住宅。

■『キーラム耐震住宅 Sun-Shine Structure』の開発コンセプト

◇都市部狭小地ではできないと思われていたプランを、『キーラム』と『キーラム耐震開口フレーム』を利用して実現。

『キーラム耐震開口フレーム』は、開放的なプランでも壁倍率がとれ、耐力壁になるので開口部を自由自在に設けられる。

◇1階のオープンスペースはインナーガレージや店舗としても利用可能。

◇狭小地ながらも開口部の自由度が高まり、ハイサイドライトが可能になる。

◇躯体+耐震開口フレーム+構造計算をセットでご提供できるので、手間がかからず安心して利用できる。

キーラム耐震住宅モデルプラン



平成22年「経済危機対応・地域活性化予備費」による【住宅エコポイント制度】1年延長！

本年9月10日に閣議決定された「新成長戦略実現に向けた3段階の経済対策」のステップ1。平成22年の経済対策予備費（9,179億円）を活用した即効性ある施策として【住宅エコポイント制度】が1年延長された。

補助金交付申請受付期限・建築着工（根切り工事または基礎杭打ち工事の着工）期限

本年12月末日まで → 平成23年12月31日まで延長

ポイント発行の申請期限：戸建て住宅では平成24年6月30日まで

共同住宅の10階以下は平成24年12月31日まで

11階以上が平成25年12月31日まで

なお、平成22年度補正予算による「住宅エコポイント対象の拡充」の詳細については次号でご紹介します！

◆◆◆カルチャー倶楽部◆◆◆

「木材利用」と「森林再生」

日本は、西洋の「石の文化」に対して「木の文化」といわれる。確かに国土の3分の2は森林で、かつては住宅はじめ多くの生活用具の多くが木で作られていた。それだけ木が人々の身近にあり、手に入れやすい材料でもあった。日本書紀には「杉と楠で浮玉（船）をつくれ、檜で宮殿（家）をつくれ、楨で棺をつくれ」とスサノオノミコトが教えたと記されているそうだが、これも、日本人が太古の昔から樹種ごとの特性を把握して適材適所に活用していたから、といわれる。

そして今、大きくクローズアップされているのが森林の再生と木材利用の促進という国の政策だ。日本の森林の4割を占める人工林面積は約1,000万haある。そのほとんどが第二次世界大戦後に植林された。森林破壊が地球的規模の問題になっているが、日本の人工林は植林した当時と同じ面積を維持。1959年に木材丸太の輸入が完全自由化され、木材資源の海外依存度を高めてきたことがその背景にはある。

戦後の植林時代から50年を経て、人工林の蓄積量（木の幹の全体積）は43億m³に増大。さらに毎年、国内の木材需要量の1億m³に迫る成長量（8,000万m³）がある、と分析されている。この豊富な資源を有効活用して木材自給率を高めれば、資源ナショナリズムの影響が回避できる。かつ、脱炭素社会の実現にもつながる。“50年に一度の林業再生の好機”は、雇用環境改善の切り札ともされているのだが、実際には、丸太価格に占める諸経費（伐採・搬出費、輸送費、労災保険料、市場経費等）の割合が多すぎるなどの課題も山積している。

この状況を打破する政策の一つが「住宅分野への地域材供給シェア拡大総合対策事業」。さらに、国や地方自治体が公共建築物等で木材利用を率先垂範する【公共建築物等への木材利用促進法】も施行された。木材を素材に製品開発するメーカーでも、こうした国の政策の後押しを受けながら、新たな技術・製品開発に努力が続けられている。

国産材自給率向上に貢献する合板合板（単板製造用素材）に占める国産材率

暦年	国産材 (千m ³)	外材 (千m ³)	国産材率 (%)
2004 (平成 16)	546	4,843	10.1
2005 (平成 17)	863	3,773	18.6
2006 (平成 18)	1,144	4,039	22.1
2007 (平成 19)	1,632	3,595	31.2
2008 (平成 20)	2,137	1,849	53.6
2009 (平成 21)	2,011	1,092	64.8

林野庁資料より

補助金交付申込受付 平成 23 年 1 月 31 日まで！
平成 22 年度 木のまち・木のいえ整備促進事業

～木のいえ整備促進～

【長期優良住宅普及促進事業】

〈申請者の資格〉すべてを満たす住宅供給事業者

- ① 直近3年間の平均新築住宅供給戸数が54戸以下。
 - ② 建築主と住宅の建設工事請負契約を締結（または、買主と住宅の売買契約を締結）し、その住宅建設工事を自ら行う者。
- ※建設業と宅地宅建取引業を兼ねる者が住宅の建設工事を行い、その売買を自ら行う場合も対象になる。

要件・申込先・応募手続等の詳細については「支援室」（平成22年度長期優良住宅普及促進事業 実施支援室）にお問合せください。
電話 0570 (050) 792
受付 月～金（祝日、年末を除く）
9:30～17:00
<http://www.cyj-shien22.jp>

① 一般型対象住宅

（1戸当たり100万円上限）

中小住宅供給事業者による【長期優良住宅】への取組みを普及促進

中小住宅生産者により供給される木造住宅

1戸当たり
建設費の1割以内
かつ100万円を
限度に補助



【長期優良住宅】

〈補助の対象住宅の要件〉

「長期優良住宅建築等計画の認定」

- ◇構造躯体の耐久性の確保
- ◇省エネ性の確保
- ◇耐震性の確保
- ◇維持管理の容易性の確保



所管行政庁による長期優良住宅建築等計画の認定を受けるものであること。

「所定の住宅履歴情報の整備」



補助事業の実績報告までに住宅履歴情報の適切な整備・蓄積がなされていること。

「建設過程を公開することにより関連事業者や消費者を啓発」



住宅の棟上げ以降で、内装工事よりも前の工程で工事現場を一般公開すること。

② 地域資源活用型対象住宅

（1戸当たり120万円上限）

中小住宅供給事業者による地域材を活用した【長期優良住宅】への取組みを普及促進

持続可能な森林経営に資する地域材の活用

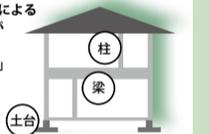
1戸当たり
①に加えて
20万円を
限度に追加補助



【地域材】

〈補助対象住宅の要件〉

「構造材（柱・梁・土台）の過半に都道府県の認定制度などによる【産地証明等がなされている木材】を使用」



- 【産地証明等がなされている木材】
- ◇都道府県等により産地が証明される制度によって認定される木材・木材製品（例：都道府県等が実施する認定制度、FIPCなど）
 - ◇森林経営の持続性や環境保全への配慮などについて、第三者機関によって認定された森林から産出される木材・木材製品（例：FSC、PEFC、SGECなど）
 - ◇林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」（平成18年2月）に基づいて合法性が証明される木材・木材製品

耐久性・快適性・意匠性を融合した屋根材

ガルバ断熱ルーフ『ガルテクト』

アイジー工業株式会社

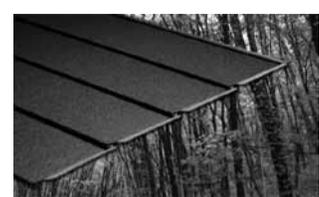
美しく快適で耐久性に優れた住環境、施工のしやすさによる工期短縮で建設コスト軽減の両立を追求したアイジー工業の屋根材。住まいの省エネ性UPに関心の高いお施主様に喜ばれる商材としておススメしたい。



before



after



ガルテクト

● 群を抜く断熱性能

ガルバ断熱ルーフ『ガルテクト』は、鋼板の裏に最大厚さ 16mmの断熱性能に優れた「ポリイソシアヌレートフォーム」を一体化した屋根材。特に上下左右のジョイント部にも断熱材を充填し、屋根全体の断熱性能を高めた。

表面材には太陽光の中の赤外線（熱エネルギーの元）を反射する温熱鋼板を採用。断熱・遮熱のWパワーで、夏涼しく、冬温かい、快適な住環境を実現する。

● 酸性雨・酸性雪に威力を発揮する優れた耐食性で長寿命

原板には耐食性に優れたガルバ鋼板を採用。メッキ層は、粒状のアルミリッチ層を亜鉛リッチ層が網目状に取り囲む構造で、従来の亜鉛メッキ鋼板に比べ3～6倍の寿命が期待できる。自ら酸化物・水酸化物になって鉄素地を保護する亜鉛と、メッキ表面に「不動態被膜」を形成して鉄素地を保護するアルミニウムが最もバラ

ンス良く機能する組成によって、特に酸性雨・酸性雪で優れた耐食性を発揮する。

● 安心の「塗膜 10年保証」*

赤外線反射特性が大きく、耐候性に優れたちぢみ塗装採用による「塗膜 10年保証」を実現。赤錆・穴あきに加え、塗膜のひび、われ、はがれ、ふくれを保証項目に含む。

*対象：保証登録いただいた建築物

話題の商品

新感覚!! 熱くないのに、たっぷりの汗

ナノミストサウナ『ナノリッチ』

株式会社 コロナ

近年の健康志向や美容への関心の高まりにより、家庭や温泉施設、スポーツジム等で「ナノミストサウナ」が注目を集めている。低温・高湿度で、通常のみストよりも更に細かいナノサイズの水粒を発生させ、身体をあたためるコロナのナノミストサウナ『ナノリッチ』。高温のドライサウナに比べ、身体への負担が格段に少ないので快適に入浴できる。

体の温かさが持続する。

◆ 目に見えない、水濡れ感のない超微細ミスト

浴室内に放出される 10 ナノ (10 万分の 1 ミリ) の水粒は目に見えないほど細かく、水濡れ感もない。だから入浴中に読書ができるほど。これまでにない安らぎの空間が身体を包み込む。

◆ レナード効果※1でマイナスイオンを発生

独自の超微細水破碎方式※2により、レナード効果で浴室内にマイナスイオンが発生。これまでのミストサウナでは実現できなかった、心地よい空間を創りだす。



標準 1 人用

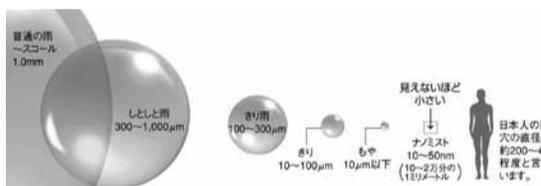


標準 2 人用

● 身体と家計にやさしい『ナノリッチ』

◆ 低温なので身体への負担が少なく、高湿度だからたっぷりの汗

浴室内は体温に近い温度 (38 ~ 40℃) なので、高温のドライサウナ (90 ~ 100℃) に比べ身体への負担が少なく、ゆっくりと入浴を楽しむことができる。また、湿度も 90 ~ 100% と非常に高く、汗をたっぷりかける。入浴後も湯冷めしにくく、身



◆ 家計にやさしい低ランニングコスト

独自の熱回収システムにより、電気代は約 40 ~ 50 円程度で運転が可能 (ウォーミングアップ運転: 約 30 分、入浴約: 20 分の場合)。また、使用する水の量は 1 回の入浴で約 11 リットルと経済的。

※1 レナード効果: 水が急激に微粒化したときに、大きい水粒子はプラスに帯電して落下し、小さい水粒子はマイナスに帯電して周囲の空気をマイナスに帯電させる現象。ノーベル物理学賞受賞者フィリップ・レナード博士 (独) によって実証されたもの。
※2 特許取得番号 第 3051055 号

空間と人のために生まれた新しいカタチ。

かつてない美しさと人の気持ちを考えて、たどりついた新しいカタチ、lucano 誕生です。



lucano

「3段タイプ lucano 3-step」が新登場!

道具としての踏台から空間調和の踏台へ、lucano コンセプトを継承しながら、さらに高い場所の作業が安全にできる3段タイプを考えました。上へと伸びたハンドルは、昇降時の手摺となり、さらに安全性を高めました。

Step stool / 2-step

Step stool / 3-step



感触で端が分かる、親切な段差
安心の幅広ステップを採用

折りたたんでも自立

外観からビスが見えない
シンプルなデザイン



ハンドル(上枠)は、登り降りの際には手摺に。女性の方でも握りやすいグリップサイズ。

上段での作業では足下の支えとしてご使用いただけます。

ハンドル(上枠)つきでさらに昇りやすく安全に。

波型ステップの滑りにくい安心設計。

商品名・品種	ルカーノ ツーステップ・踏台
価格	¥11,000 (税込¥11,550)
カラー・商品番号	ホワイトML-2 (WH) / オレンジML-2 (OR) / ブラックML-2 (BK)
サイズ	クローズ時 / W484mm × H622mm × D155mm オープン時 / W484mm × H559mm × D566mm
重量・材質	3.0kg・アルミ、ABS樹脂
最大使用質量	100kg
付属品	本体・取扱説明書 (安全品質基準SGマーク取得)

商品名・品種	ルカーノ スリーステップ・踏台
価格	¥18,000 (税込¥18,900)
カラー・商品番号	ホワイトML-3 (WH) / オレンジML-3 (OR) / ブラックML-3 (BK)
サイズ	クローズ時 / W529mm × H1327mm × D155mm オープン時 / W529mm × H1223 (793) mm × D738mm
重量・材質	5.0kg・アルミ、ABS樹脂
最大使用質量	100kg
付属品	本体・取扱説明書 (安全品質基準SGマーク取得)

国産材から地域産材利用へ進む ニーズに応える JK 木構造グループ

2020年までに木材自給率を50%に引き上げるための国の政策の一つとして今年10月1日スタートした「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」。これに先立って、木質建材メーカー様では国内の森林で伐採された間伐材や未利用材の有効活用に取り組んでいる。

JK木構造グループでも、国産材よりもさらに産地を限定した県産材活用を望む地元の要請に応える形で「地産地消の木材利用」を実現するための技術開発を積極的に進めている。

●多様なニーズに対応する販売システム

JK木構造グループでは、公共等の建物では特に地元で育った木を使うケースが今後も増えていくことを見据え、多様なニーズに対応できる販売システムを構築。新たな木造建築の可能性を創造するさまざまなご提案のためのグループ内の相互協力・補完関係の強化にも取り組んでいます。

また同時に、グループ外のメーカー様とも積極的なコラボレーションを進めるなど、JK木構造グループの可能性を多面的に広げています。

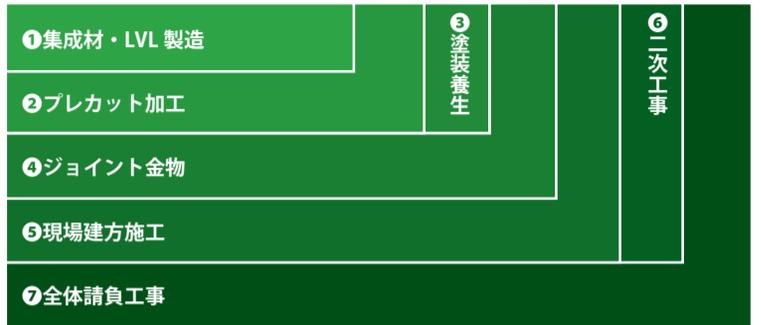
●集成材・LVLの企画から建方施工まで対応

JK木構造グループでは、集成材・LVLの製造だけでなく、建物の企画、デザイン、積算、構造計画、CAD、構造設計、工場プレカット、建方施工まで、あらゆるご要望にお応えします。

■ JK 木構造グループ「プランニングのフロー」



■集成材・LVL 製造から建方施工まで



- ◇ 集成材・LVLはプレカットしてお届けします。
- ◇ 養生塗装、または仕上げ塗装して出荷します。
- ◇ ジョイント金物、ボルト等をセットしてお届けします。
- ◇ 建方専属チームによる現場での建方施工を行います。
- ◇ 設計支援（事例紹介・構造計算等）をします。
- ◇ 豊富なデータに基づく正確かつ迅速な見積（概算、設計）をします。

■これまでの実績

文教施設（保育所・小学校音楽室・体育館）／スポーツ施設（アリーナ、ドーム）／公営住宅／多目的公営文化・スポーツ施設／公営野外活動センター／町役場建物／駅舎／空港施設／工場／事務所

業界 2010年10月16日～11月15日 インデックス

東洋エクステリア▶表札・インターホン・郵便受けなどの機能も集約できる戸建て向け電気自動車用コンセント付きの機能門柱『スクリーンファンクションユニットEV仕様』の10月20日発売を発表。
トーヨーキッチン▶ドア表面を1312色から選べるシステムキッチン『イノ・プレミアム アズール』の10月21日発売を発表。
エス・バイ・エル▶維持管理費・光熱費が低く抑えられる間取りがコンパクトな平屋タイプを戸建て住宅『家族謳歌』に追加発売。
トステム▶扉本体に内蔵するタイプのドアストッパー『みえナイゾウドアストッパー』を標準装備し、チャイルドロックもオプションで後付けできる居室用ドアを発売。／扉開閉時に扉が縦枠に近づくと自動減速、開閉時音も抑えられる、業界で初めてプッシュ錠も採用した『室内引戸』を発売。
YKKAP▶近年流行のモダンなデザインの住宅に合う直線型シンプルデザイン、風速毎秒34mの風圧に耐え、20cm程度の積雪にも耐えられるカーポート『エフルージュ』発売。／サッシ業界ではサッシとガラスを工場を組み込んで窓として販売する手法が増えるなか、ガラスをサッシに接着して窓の厚みを抑えたシンプルデザインのアルミ樹脂複合窓『APW310』を11月1日から順次発売と発表。／壁工事が不要の『スマートカバー工法』を窓リフォーム専門店『MADO ショップ』限定商品として投入後、参入を希望する流通店相次ぎ、市場攻略順調に動く。
積水化学工業▶入社3年目までの若手社員キャリア研修で「会社での自分の将来像を考える習慣を身につけさせる」仕組みを導入。
INAX▶浴槽の残り湯を流すときにできる渦を利用

して排水口に髪やゴミをまとめる『くるりんポイ排水口』の集合住宅向け新製品を開発、マンションのリフォーム需要開拓へ。／中国東北部でビル・商業施設建設が相次いでいることから遼寧省瀋陽市に外壁用大型タイルの新工場を2012年春稼働をメドに建設、投資総額26億円と発表。
立川ブラインド工業▶高い耐水性で浴室・キッチンなどの窓に対応、ネジを使わないで取り付け可能な窓用ブラインド『シルキーサート アクア』の11月1日発売を発表。
京都府▶電気やガスの削減量に応じてポイントがもらえ、集めたポイントは府内の商業施設等で買い物に使える、地元有力企業が経済面を支える『京都エコポイント』で個人や家庭の省エネ継続を促す。
TOTO▶世界的な水不足によって海外で節水規制が広がりはじめたのを契機に2009年6月に発売した洗浄水量が国内で最小の『ネオレスト』で磨いた節水技術を普及価格帯製品にも導入。2011年度に国内向け発売する住宅用トイレの8割を4.8リットル型に切り替える目標を掲げ、消費者が商品を直接選ぶケースが多いリフォーム市場を狙う。／広州直営ショールームを移転し、面積を倍増してプロ向け技術説明などもできる「TOTO 広州テクニカルセンター」に格上げ、大連の水栓金具工場能力を倍増、上海に建設中の第2工場能力を上乘せするなど、中国でショールーム拡充・衛生陶器の生産能力拡大を進めると発表。／一般職採用の女性社員の能力育成を目指す新たな研修制度「女性ステップアップ研修」を導入、職場での課題を的確に把握して解決策を立案できる人材を育成。2011年度までに課長以上の管理職に占める女性の比率を現在の3.7%から10%に引き上げる。
ノーリツ▶兵庫県明石市の西新町事業所で製品の故障などに電話対応する顧客向け相談部門などの社員に仮装でストレス解消、気分転換させて顧客対応を向上させる「カスタマーサービスウィーク」（10月28日～31日）を実施。
国土交通省▶9月の新設住宅着工戸数71,998戸

（前年同月比17.7%増）で4カ月連続の増加、季節調整済み年率換算値837,123戸（5カ月ぶりの80万戸台回復）。構造別・建て方別の木造は41,141戸（前月比2.2%減、前年同月比13.0%増）、と分析。
信越ポリマー▶燃料電池基幹部分のセパレーター製造コストを従来品の半分に抑える技術を開発、家庭用燃料電池向けなどへの普及に注力。
住生活グループ▶2011年4月1日付でトステムを存続会社に、INAX・新日軽・東洋エクステリア・戦略立案会社LIXILの4社を吸収合併、新社名「LIXIL（リクシル）」に変更すると発表。／川島織物セルコンと資本・業務提携、12月15日付で第三者割当てによる増資を受け（取得額約22億円）、サッシ事業などのシナジー効果を狙う。／2011年4月の統合を機に事業会社ごとに分かれている営業機能再編、100箇所を超える国内営業拠点を17箇所に集約。
総合警備保障▶住宅用火災警報機の設置・メンテナンス、火災の発生時には警備員が訪れる、持病やかかりつけ医師の情報を事前に伝えておけば意識がなくても病院に搬送するなど高齢者向けに特化したセキュリティーサービス『ALSOKシルバークラウド』を開始。
東レ ACE▶炭素繊維配合で強度・耐久性を向上した外装材『炭素繊維補強サイディング』を開発、戸建て住宅向け需要など開拓へ。
パナソニック電工▶12月発売の明るさ・色が蛍光灯並で消費電力は60%の直管形LED（発光ダイオード）照明の商品発表会を東京・大阪で開催、オフィス・店舗での切り替え需要を見込む。
住友林業▶インターネット上で住宅間取り設計や家具配置も自由にでき、出来上がった設計を3D画像で閲覧できるサービスを開始。
ダウ化学▶クラレ子会社と共同で特殊繊維などで弾力性を高めて転倒時のケガ防止、藁畳の半分～3分の1の厚さで3～4倍の断熱性を備えた薄畳芯材『芯匠（しんぞう）』を開発。



ジャパン建材株式会社
東日本グループ
首都圏第二営業部
甲府営業所



所長 三浦 光晴

快適な住まいづくりのお手伝い

首都圏サポートセンターとともに、工務店様に対し住みよい住宅づくりのご提案、営業・受注支援にも力を注いでまいりますので、なんなりとご相談ください。

- ①ハウスプラスすまい保険の取次ぎを行い、工務店様の瑕疵保険加入のお手伝いを行っております。
- ②性能表示、長期優良住宅申請サポートとして、長期優良住宅でメリットの多い補助金、減税やローン金利の優遇対応。
- ③住宅ローン支援として、切り離せないのが住宅ローン。長期固定金利の「フラット35S」など他社には真似の出来ない低金利の住宅ローンを提案。さらに、力を注いでいる商材は「太陽光」です。オール電化住宅市場が2015年には45.1万户と予測される中、山梨県など外周エリアのオール電化率は約40%に高まっています。気候も、夏季には日本有数の猛暑となり40.4℃と歴代6位を記録し、日照時間も年間で1961時間と全国3位。普及促進には恵まれた地域ですので、PRに努め、普及・受注に努力してまいります。ぜひ、ご相談ください。

【最新情報！】

山梨県における新たな情報発信基地として「コーディネートルーム」が11月20日にオープンしました。この施設は、私どものお客様でもある中央ベニヤ様が主体となって整備されたDAIKENショールームと商談のための空間ですが、県内の販売店様、工務店様、お施主様、どなたでもご利用いただけるものになっています。ご活用方法は当営業所にお問合せください。



甲府市は、山梨県の中央を南北に三日月形に縦断、市街中心部は甲府盆地の中央北寄りに位置しています。甲府の地名は「甲斐の国を司る府中」に由来し、戦国時代には大名領国を形成した武田氏の本拠地となり、武田氏滅亡後は徳川氏や豊臣系大名浅野氏の甲斐国経営のもとで国中地域や甲斐国の政治的中心地として発展。写真は、甲斐の英傑・武田信玄公。山梨県は首都圏整備法上の首都圏に属し、その位置関係から東の関東地方への志向性が強く、先取の気風あふれる土地柄です。

第5回 雙環フォーラム を開催します。

今回の演題：平成23年新春特別企画「日本の政局を斬る。」

平成22年も日本は揺れに揺れている。止まらない円高や尖閣問題に端を発した中国、ロシアの外交問題など迷走する政治経済のスパイラルは、われわれ住宅業界にとっても無関係とは言えない。平成23年新春、生き抜くために必要なものは何か。これからの日本情勢の風向きを読む。

講師：末延 吉正（すえのぶ よしまさ）氏

ご好評をいただいております当フォーラムも今年で5回となります。毎回、時代に則したゲストをお招きし、業界に一石を投じることができればと考えております。第5回は、末延吉正氏を講師にお迎えして開催します。

開催日時 平成23年1月21日（金）16：00開始

○講演の部 16：10～17：40

○情報交換会（懇親会）17：50～19：20

参加ご希望の方は、参加申込書にご記入のうえ（平成23年1月14日締め切り）お申し込みください。

講師プロフィール

テレビ朝日社会部、政治部、ニューヨーク特派員、バンコク支局長などを経て、1980年代に政府訪朝団に同席してピョンヤン入り、従軍取材を決定した1990年の湾岸戦争を経て2004年にフリージャーナリストとなる。中央大学特任教授の肩書きももち、政界とも深いつながりを持ち、歯に衣着せぬ意見は物議をかもしだすことも。

住宅エコポイント拡充、ストック活用型セーフティネット整備事業推進事業及び瑕疵保険に係る講習会

- ◇講習内容 住宅エコポイントの対象拡充
ストック活用型住宅セーフティネット整備推進事業
リフォーム工事・中古住宅売買を対象とした瑕疵保険制度
- ◇講師 国土交通省 担当官
- ◇受講料 無料
- ◇申込方法 開催日の3日前までに電話またはFAXで申し込む。
※事前申込していない場合も会場に余裕があれば受講は可能。
- ◇申込先 住宅エコポイント等講習会受付窓口
TEL 0120-884-647 FAX 0120-888-476
FAX用紙は国土交通省のホームページからダウンロードできる。

◇開催日程

札幌	12月9日	10:30～12:00	ホテルさっぽろ芸文館ロイヤルホール
仙台	12月13日	15:30～17:00	仙台国際センター 大ホール
東京	12月7日	10:30～12:00	新宿文化センター 大ホール
新潟	12月9日	15:30～17:00	朱鷺メッセ スノーホール
名古屋	12月8日	10:30～12:00	名古屋市公会堂 大ホール
大阪	12月7日	15:30～17:00	大阪国際会議場 メインホール
広島	12月13日	10:30～12:00	広島国際会議場 フェニックスホール
高松	12月16日	10:30～12:00	アルファあなぶきホール 小ホール
福岡	12月8日	10:30～12:00	アクロス福岡 シンフォニーホール
沖縄	12月14日	10:30～12:00	沖縄コンベンションセンター 劇場

JK お客様センター

お聞かせ下さい。お客様の声！
フリーダイヤル 0120 (563) 568 受付時間：平日 8：30～17：20
土曜日・日曜日・祝日・年末年始・夏季休暇は、受付を休ませていただきます。

企画発行

ジャパン建材株式会社 JK 情報センター
〒136-8405 東京都江東区新木場1-7-22
TEL:03-5534-3711 (代) FAX:03-5534-3855 (代)
URL:http://www.jkenzai.co.jp



9月の新設住宅着工戸数が発表されたが、4カ月連続の増加となった。木造住宅に関しては9カ月連続で前年対比増加となり、一戸建は前年比20.5%増で9カ月連続の増加。木造比率も57.1%と50%以上をキープし、首都圏を中心に全国的に回復傾向となっている。今後も回復傾向は続くと思われる。

国内合板の9月の生産量は23.1万㎡となり、前年同期比111.0%であった。針葉樹合板生産量も20.1万㎡と今年2番目の高水準となった。ただ、9月出荷量は大手プレカット工場や住宅メーカー向け中心に厚物合板が引き合ってきたことで19.5万㎡と健闘した。生産量がまとまったため入荷量が9.9%増の20.3万㎡と10カ月ぶりに20万㎡台に乗った。昨年末から荷動きが出てきた戸建て分譲など直需向けに後押しされ、プレカットは首都圏中心に手応えも顕著で年内は好調が予想される。

好調の理由は各社様々だが、夏場以降からローコストビルダーの受注が増加している。ただし、今後についてはより一層、

需給のバランスをとるために需給に見合った生産を維持することが大切。いずれにしても原木の手当てと接着剤等の値上げもあり値上げ傾向は変わらないと思われ、需要家は消費分から新値玉に着手せざるを得ない状況になる。

輸入合板の9月の入荷量は26.8万㎡で前月比6.7%減となり、インドネシアの入荷が増えたものの全体では2カ月連続の入荷減少となった。円高によるドル建てシッパーへの転換と、マレーシア産合板の主力商品であるコンパネ・構造用関係への需要が低下した結果である。

各商社の買い付け状況からみても10月入港も低水準が予想される。関東圏では比較的港頭在庫はあるものの、地方ほど在庫調整は進んでいる。現地での原木価格の高止まり、接着剤値上げ等依然として値上げ要請が多い。

11月以降は更に入荷減少を引き起こす可能性もあり、再度上値を探る展開も予想される。

合板部 部長 内藤裕之